

JGC Hospital Engineering

病院建設のソリューションパートナー

JGC 日揮株式会社

SOLUTION
PARTNER



日揮が出資／運営するカンボジアプノンペンのSunrise Japan Hospital
トンレサップ川の向こうはプノンペン中心部



JGC 日揮株式会社 (JGC JAPAN CORPORATION)

横浜市西区みなとみらい 2-3-1 〒220-6001

E-mail : hospital@jgc.com

<http://jgc-healthcare.com>

日揮 病院建替え 

日揮の ホスピタルエンジニアリング

日揮は、病院建設における

「ソリューションパートナー」を目指します。

病院は、数多くの異なった要素や機能で構成される複雑な施設であり、人々の命と健康を守る使命のもと、信頼性・安全性が必要不可欠であり、更には運営・保守が容易であることや経済性に優れることも求められます。日揮は、今日まで数多くの病院・医療施設を建設した実績に加えて、病院運営にも直接携わるなど、病院・医療分野において豊富な経験を有しております。これらの知見を活かして、医療従事者、患者、地域社会などにとって最適なソリューションを提案し、お客様の良きパートナーとして、社会の期待に応える病院への進化に向けて挑戦しています。

独自のプロジェクトマネジメント

日揮グループはこれまで世界80カ国にわたって2万件以上のプロジェクト遂行実績があり、そのプロジェクト遂行力は世界でも高く評価されています。病院の建設においても、経営・運営計画、施設の計画／設計／建設、医療機器の導入、情報インフラの構築、環境／防災計画、移転計画など、相互に関連する多くの事柄を一元的に調整・管理し、プロジェクトを遂行します。また、プロジェクトの最初から最後まで一貫した思想で全体を統括する総合的なプロジェクトマネジメントで、お客様の理念や目標の実現を目指します。

幅広いネットワークを活かしたプロジェクト遂行体制

病院建設プロジェクトにおいては、医療従事者はもちろんのこと、病院の経営・運営を支える

様々な関係者を含めたプロジェクト遂行体制を構築することが非常に重要です。日揮は、豊富な実績で培った、幅広いコミュニケーションネットワークを活用することでお客様のニーズに合わせた協業体制を構築し、関係者のプロジェクト遂行力を最大化させることで、プロジェクトを成功に導きます。

病院経営・運営の実績

日揮は、病院の設計・建設のみならず、国内では病院PFI事業、海外では出資者として病院の設立から経営・運営までを行っています。これら豊富な実績で培った病院経営・運営ノウハウを活かし、経営支援やコンサルティングに取り組むだけでなく、お客様と同じ「経営者」という目線に立ち、最適な医療機能を病院の設計・建設にも反映します。

病院経営・運営を見据えたソリューション提案力

病院の抱える課題は、変化する市場環境への対応、病院機能の再構築、業務効率の向上、施設老朽化対応、人材確保、快適性／利便性の向上、災害対策／BCP対応など多岐にわたります。日揮は、病院の事業継続性の確保を最優先に位置づけ、課題の解決策をお客様と同じ視点で共に考え、実効性のあるソリューションを提案し、現実的な収益予測を見据えながら健全な投資計画を立案します。

これまで300件以上の医療施設のプロジェクトを遂行



耳鼻咽喉科麻生病院／北海道



木戸病院／新潟



熊谷総合病院／埼玉



堺平成病院／大阪



都立松沢病院／東京



友愛記念病院／茨城



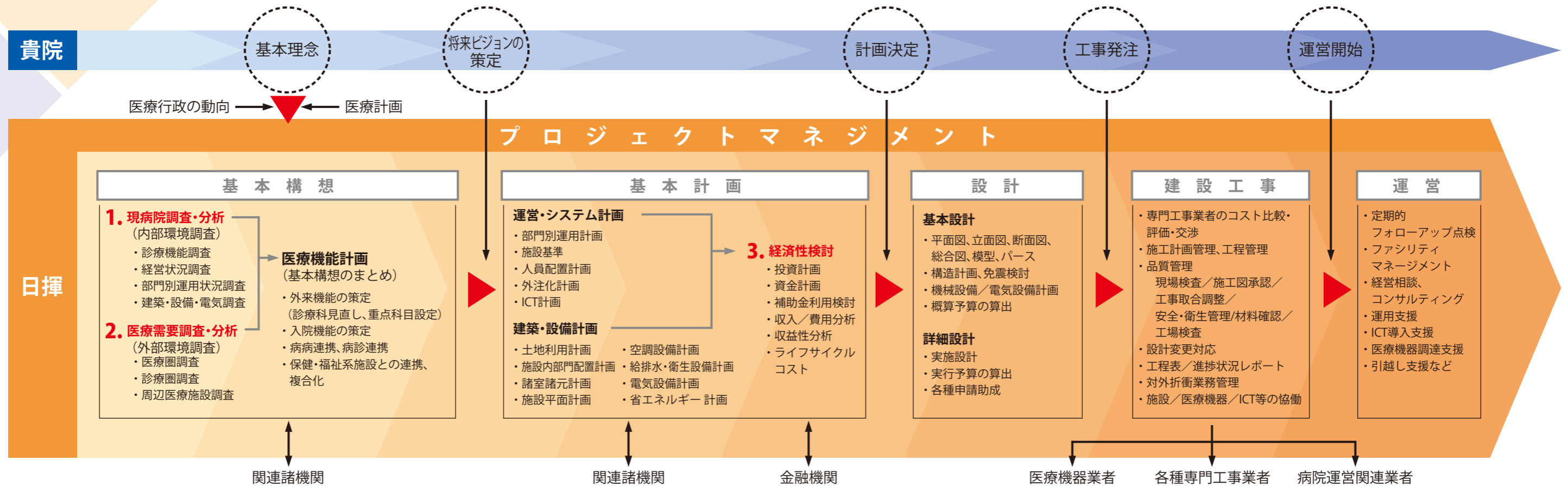
大阪医科大学付属病院／大阪



姫野病院／福岡

ホスピタルエンジニアリングの手法

基本構想から建設、運営までのプロセス 分断されがちな病院建設の各フェーズをスムーズにつなぎ、統一された思想のもと、コスト、工期、品質の全体最適を実現

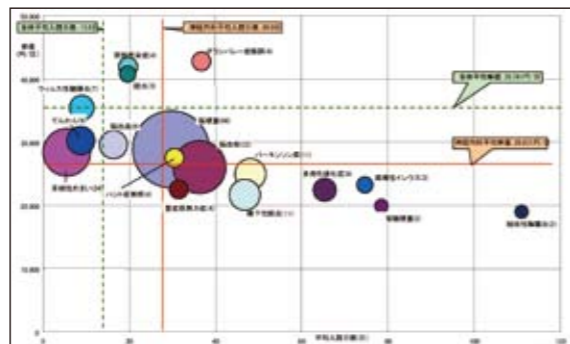
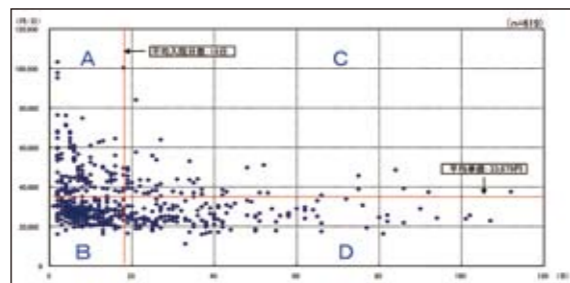


基本構想・基本計画段階で活用する主な技術

1. 現病院調査・分析

—調査結果に対する様々な角度からの分析ツール—

基本構想の段階では、現病院の客観的な調査・分析が重要です。日揮は、豊富な経験に基づき、現病院の有形・無形の経営資源の調査を行い、病院の強み・弱みを明らかにした上で、外来各診療科、病棟構成・入院患者など様々な角度から分析を行います。

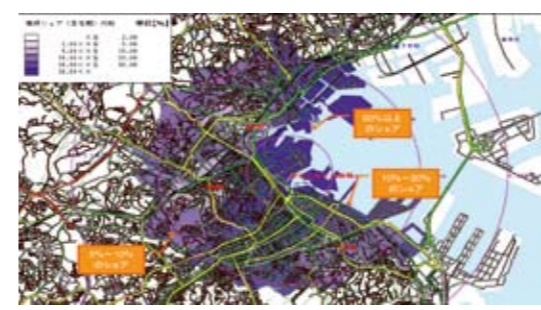


2. 医療需要調査・分析

—医療需要分析システム—

地域の医療需要の把握は、医療施設計画立案の基本となるものです。日揮は独自に開発した「医療需要分析システム」により、周辺病院の競争力を考慮した地域の町丁目ごとの診療科別獲得患者数を客観的に算出可能としました。このシステムは病院の新築/移転計画、既存病院の潜在的来院患者数把握などのマーケティング面の検証にも活用されています。

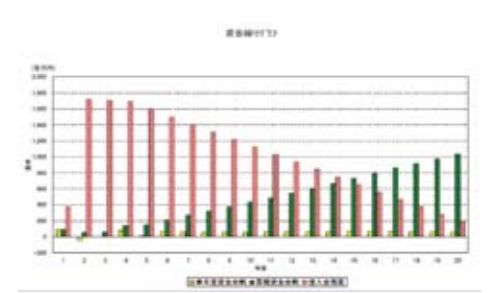
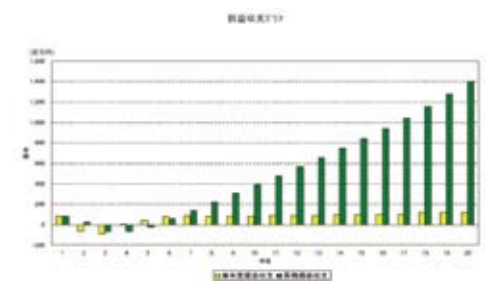
計画年度	1. 1階		2. 2階		3. 3階	
	床面積	延床面積	床面積	延床面積	床面積	延床面積
2021年度	1,200	2,400	1,500	3,000	1,800	3,600
2022年度	1,300	2,600	1,600	3,200	1,900	3,800
2023年度	1,400	2,800	1,700	3,400	2,000	4,000
2024年度	1,500	3,000	1,800	3,600	2,100	4,200
2025年度	1,600	3,200	1,900	3,800	2,200	4,400
2026年度	1,700	3,400	2,000	4,000	2,300	4,600
2027年度	1,800	3,600	2,100	4,200	2,400	4,800
2028年度	1,900	3,800	2,200	4,400	2,500	5,000
2029年度	2,000	4,000	2,300	4,600	2,600	5,200
2030年度	2,100	4,200	2,400	4,800	2,700	5,400



3. 経済性検討

—医療施設向け経済性分析システム—

病院建設は大規模な投資を伴う長期的プロジェクトであることから、正確な収支・キャッシュフローの予測が不可欠です。日揮は独自に開発した「医療施設向け経済性分析システム」により施設毎に損益計算書・資金計画表を作成して経済性評価を行います。このシステムでは、条件を変えたシミュレーションが簡単に行え、また、その結果は金融機関との折衝にも活用されています。



あらゆる段階において 病院運営を サポートする日揮

専門家集団のタスクフォースによる
業務遂行



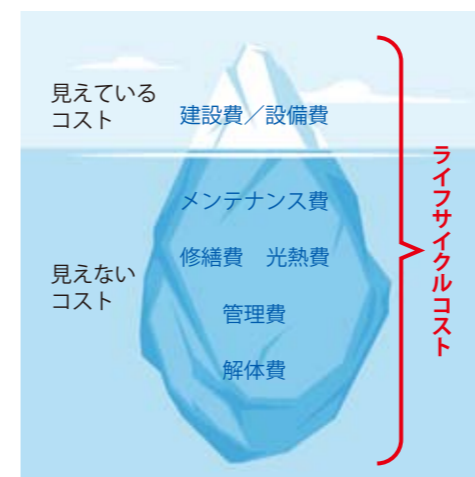
お客様に代わり プロジェクトをマネジメント

医療と施設をつなぐ専門家として、医療業務で多忙な病院職員に代わり日揮がプロジェクト全体を統括します。病院の理念や目標をプロジェクト全体に浸透させ、建設する施設の品質・コスト・スケジュールを最適化します。また、施設の建設とともに必要となる医療機器や各種設備、什器・備品の調達、情報システムの構築、新施設への移転、業務改善を踏まえた病院経営・運営体制の構築まで、病院建設プロジェクトのあらゆる段階でお客様を支援します。



最適なエネルギーマネジメント

病院経営を考える上でエネルギーコストの最適化は、大きなテーマです。日揮はライフサイクルコスト(LCC)の視点で病院運用方法、省エネルギーに配慮した施設設計（建築的、機械設備的）の提案・導入支援を行います。



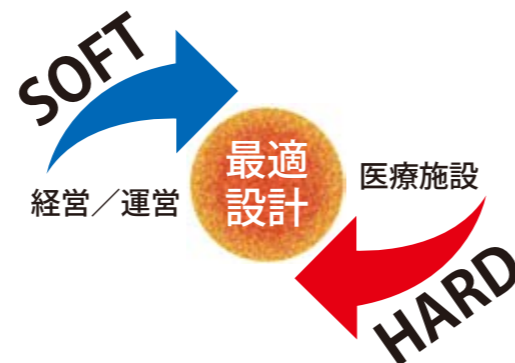
全体最適を追求する ファシリティマネジメント (FM)

日揮が提供するFMは単なる人財派遣、アウトソーシングサービスの提案に留まるのではなく、病院業務の全体像を詳細に把握、分析、再定義し、真に必要とされるアウトソーシング領域をお客様と共に考えます。これにより、全体の業務バランスの最適化や病院機能の安定的継続を実現し、病院の経営戦略の実現や価値向上に貢献いたします。



ソフトとハードを融合させた設計

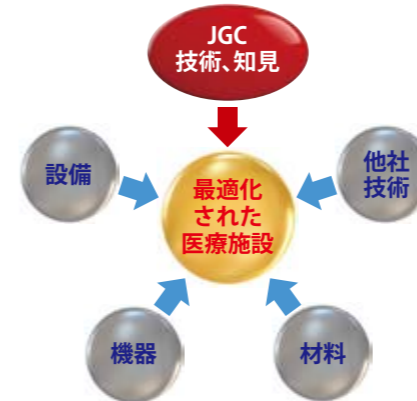
病院の施設設計においては、ソフト（経営・運営）とハード（施設）を融合させることは非常に重要です。日揮は、病院の運用と建築・機械設備、医療機器、情報システム等を最大限に最適化する「統合設計」手法を活用しています。病院運営に関係するさまざまな組織とのネットワークを活用して得た情報をもとに病院運営に適した施設を設計します。



技術の有機的統合

現存する、あるいは新たに開発される多種多様な設備、機器、材料、技術から最適なものを選定・集約し、これらが有機的に統合して最適化された施設を構築します。独自の技術だけにとらわれず、幅広く集めた技術を最適化し活用していくことはエンジニアリング会社ならではの視点です。

エンジニアリングによる最適化医療施設の構築



デジタル化の支援

日揮はこれまで、病院経営・運営の効率化に向け、診療情報や経営情報を一元的に管理する病院情報システムの導入支援を行ってきました。また、急速に進化する最新のデジタル技術の導入についても、基本構想・基本計画の段階から検討し、病院の運用プロセスにデジタル変革の提案を行い、デジタル化の計画立案からベンダー選定、導入まで一貫した支援を行います。

